

Rika & Nicola Duo Recital

カルテットと共に
初夏のイタリアの風を感じて



栗原 利佳

ニコラ・ロッシ・ジョルダ



内田 沙理



ディエゴ・ピッチョーニ



奥田 日和



早川 揺理



Program

Casta Diva : オペラ『ノルマ』より

Io son l'umile ancella : オペラ『アドリアーナ ルクヴェール』より

O inferno! : オペラ『シモン ボッカネグラ』より

Intermezzo : オペラ『カヴァレリア ルステイカーナ』より e.c.t.

6/29 2019年 (土) 14:30

会場：サントリーホール・小ホール

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目13-1

全席自由 5,000円

主催：栗原利佳後援会 後援：イタリア大使館

チケットのご予約・お問い合わせはこちら

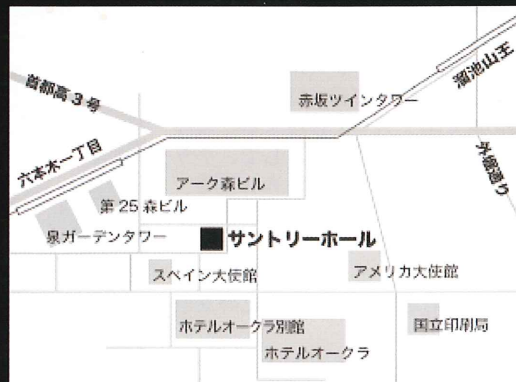
☎080-3411-3565

FAX 03-3806-7490 / E-mail cararika@hotmail.com



開演(14:00開場)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。



Profile

栗原 利佳

Soprano

フェリス女学院大学音楽学部声楽科首席卒業（三宅賞受賞）、同大学院修了。イタリアサンタマルゲリータ国際声楽セミナーディプロマ修得。二期会会員。読売新人演奏会、横浜新人演奏会、日伊交歓ガラコンサート、二期会新進声楽家の夕べ等、国内で出演多数。2002年イタリア・デセンツァーノ市オペラガラコンサートにてプリモプレミオ受賞。2003年ヴェローナ・アレナ劇場にてオペラ・ガラコンサートに出演し、アレナ新聞で出演者の中で唯一絶賛を受ける。



同年7月、サンレモ音楽祭にてテレビ出演。2004年ラスペツィアカルロ声楽コンクールで優勝。2005年イタリアサレルノヴェルディ歌劇場にてオペラ「サレルノのノルマン人」のヒロイン役でイタリアオペラデビューを果たし絶賛された。2006年イタリア、サポーナで行われた、第4回ポンティンブレア国際声楽コンクール優勝。2015年には、大田区民オペラ主催のオペラ「ラ ボエーム」にてムゼッタを演じ、卓越した演技と歌唱で観客を魅了した。現在日本・イタリア各地で幅広く音楽活動を展開し、愛嬌のある笑顔と、小柄な体形からは信じられない声量そして独特の表現力によりファンを惹き付けている。

Diego Piccioni

Viola

イタリア・マルケ州交響楽団創立メンバーの一人。

ペーザロ音楽学校にてバイオリン、ボローニャ音楽学校にてヴィオラの教師ディプロマ取得。

20世紀のバイオリニストの巨匠、ユーディ・メニューインが手がけたスイスのユーディ・メニューイン音楽学校にてヴィオラをアルベルト・リージ氏に師事し、研鑽をつむ。

トスカニーニ・パルマ交響楽団にてヴィオラ奏者として活躍のち、スイス・ルガノ放送交響楽団、ミラノ・ボメリッジ・ムジカーリ交響楽団、ヴェネチア・フェニーチェ歌劇場管弦楽団など様々な交響楽団にて演奏経験多数。

フランスではニース市交響楽団のヴィオラ奏者として15年以上、数々の交響曲、オペラの演奏を行った。

イタリア各地の音楽学校、コゼンツァ音楽学校、ペーザロ音楽学校、ヴィーボ・ヴァレンティニア音楽学校にてバイオリン教師としても活躍。現在は、日本で後進の育成にあたっている。



奥田 日和

Cello

中学校でチェロと出会い、高校より本格的に学び始める。

東京芸術大学を卒業後、ルエイユ・マルメゾンフランス国立音楽院へ留学。修了演奏では満場一致のブルミエ・プリを獲得する。現在フリーのチェロ奏者として、クラシックやポップス、民族音楽等、さまざまなジャンルのコンサートやライブツアー、TV出演、レコーディングなど、活動は多岐にわたる。有名アーティストとの共演も数多い。

にじいるクインテットメンバー。第6回日本室内楽コンクール入選。



Nicola Rossi Giordano

Tenor

現在、ヨーロッパ、アメリカで最も注目されているテノールの一人。イタリア、ジェノヴァ生まれ。

2000年、スペイン・コルドヴァ国際コンクール、イタリア・サンレモ国際オペラコンクールなど数多の国際コンクールに優勝。

世界最高峰の演出家、フランコ・ゼフィレリに見出され、オペラ『アイダ』のエジプト・カイロのデビューを皮切りに、イタリア全土でデビューを果たす。

その後、前代未聞のスピードで世界主要の劇場でデビュー。ロンドン・コヴェントガーデンで



『シモン・ボッカネグラ』、ベルリン国立歌劇場にて『蝶々夫人』、モスクワ『アイダ』、マドリッド王立劇場『トスカ』、アムステルダムで『イリス』、バルセロナ・リセウ劇場『トスカ』、トゥールーズでは『メデア』、『三部作〜外套』、ローザンヌで『アドリアーナ・ルクヴルール』、トリノ王立劇場で『ノルマ』、モナコにて『アイダ』、マドリッド王立劇場では『カヴァレリア・ルスティカーナ』、ブリュッセルでの『運命の力』、再びモナコでは『ノルマ』など多数の舞台をこなした。

また、ロンドン・コヴェントガーデンロイヤルオペラでの『トスカ』では、アンジェラ・ゲオルギューとの共演で、空前の大成功を収めている。

現在は日本に居を移し、ベルカント唱法を日本に広めるべく後進の指導にも力をいれている。

内田 沙理

Violin

3歳よりバイオリンを始める。

桐朋学園女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学を卒業。国内での音楽フェスティバルに多数参加。北京にて日中交流オーケストラ出演。

これまでに、宮下理恵、篠崎功子、塩貝みつるの各氏、マスタークラスなどで竹澤恭子、ヒョー・カン、カート・サスマンズハウス、ヴィクトル・ピカイゼンの各氏に師事。在学中より、ドラマ、映画などのレコーディングに参加。また多数のアーティストのレコーディング、ライブサポート、ツアー、PV出演などにも参加。現代音楽の



初演や、東京ディズニーランド、東京ディズニーシーでの演奏等、クラシックに留まらず様々なジャンルの演奏も行う。コンセルヴイヴァンオーデション室内楽部門合格。第7回ブルクハルト国際音楽コンクール室内楽部門最高位受賞。

2014年、2015年、2016年にNY Buddhist Churchにて、2001年9月11日におこったアメリカ同時多発テロによる犠牲者追悼演奏を行う。現在はソロ、バイオリンデュオや、カルテットなど様々な編成で演奏や後進の指導にあたる。2015年、銀座ヤマハホールにてソロリサイタルを開催。

2017年、TBSドラマ「カルテット」演奏指導。

早川 揺理

Piano

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。

東邦音楽大学総合芸術研究所ピアノ伴奏法コース修了。第20回国際芸術連盟新人オーディション、奨励賞受賞。第1回全日本彩明ムジカコンコロソ、ピアノ部門第3位受賞。第6回「長江杯」国際音楽コンクール、アンサンブル部門奨励賞受賞。また第16回同コンクールでは優秀伴奏者賞を受賞。ピアノを宮原峠子、故・白石隆生、ラルフ・ハイパーの各氏に、日本歌曲を塚田佳男氏に、オペラ伴奏を故・相庭尚子氏に師事。



横浜美術館でのクラシックライブでは、M.ムソルグスキー作曲「展覧会の絵」を演奏し好評を博す。2010年5月山口興輔氏主催のイタリア・マントヴァ市ブスコルドにおける、第2回テアトロタグチ声楽マスタークラスではピアニストを務め、修了コンサートでは「Bellissimo! (とても美しかった)」と称賛を受ける。

国内外で多数のコンサートに出演する他、2010年夏から2015年夏まで毎年、白石隆生、白石敬子両氏監修の湘南ミュージック・アカデミーのピアニストを務めるほか、マウロ・アウグスティニ氏の日本における声楽マスタークラスのピアニストを毎年務める。日本に居を移したイタリアの主要テノール、ニコラ・ロッシジョルダノ氏とは、日本の声楽界に正統的なベルカント唱法を啓蒙しようと、ともに研究している。